

## 公衆衛生学 ( 歯学部 )

[ 講義 ] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 三浦 宏子 ( 歯学部 hmiura@ ) 松岡 紘史 ( 歯学部 mazun@ ) 植原 治 ( 歯学部 osamu@ )  
村田 幸枝 ( 歯学部 y-murata@ )

### 【概要】

人々の「健康づくり」に貢献することを目標として、健康と社会・環境に関する基本的知識を修得するとともに、社会生活にとって必要不可欠である健康の維持と増進、疾病の予防、健康管理、環境保健、健康教育、衛生行政、医療制度などの公衆衛生に関する知識を体系的に学習し、総合的に考察できるように理解を深める。歯科医師として必須の要件である公衆衛生活動を地域で実施することができる知識とスキルを得ることを目的とする。

### 【学修目標】

衛生学・公衆衛生学の概念について説明できる。  
疾病の自然史について説明できる。  
予防の3相5段階について説明できる。  
我が国における保健医療の行政機構について説明できる。  
健康の概念、プライマリヘルスケア、およびヘルスプロモーションについて説明できる。  
健康増進法の内容について説明できる。  
健康日本21 ( 第二次 ) について説明できる。  
医の倫理の概念とその規範について説明できる。  
感染症の疫学的概念、予防対策、法的根拠について説明できる。  
疫学の概念、必要性、研究方法について説明できる。  
環境問題とその健康への影響について説明できる。  
グローバルヘルスの概念と国際協力活動について説明できる。  
生活習慣病 ( NCDs ) とその予防手段について説明できる。  
食生活と栄養、食中毒について説明できる。  
地域保健、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者保健、障害者保健に関する諸制度を理解する。  
人口問題について説明できる。  
精神保健福祉 ( 発達障害、認知症、双極性障害、統合失調症、虐待など ) について説明できる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部 ( 研究科 )、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー ( 学位授与方針 ) との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

三浦 宏子 ( 歯科医師 )、松岡 紘史 ( 公認心理師 )、植原 治 ( 歯科医師 )、村田 幸枝 ( 歯科医師 )

### 【実務経験を活かした教育内容】

公衆衛生学は、個人の健康のみならず、地域社会、国際社会全体に寄与する科目であり、学理に則った教育内容と実務経験を背景とした経験談が対をなすことで優れた教育成果が期待できる構成としている。